

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取組計画に対する
取組実施内容・取組予定事例

令和 7 年 2 月
岩木川流域治水協議会

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森市)取組実施内容・取組予定事例

【令和6年度取組実施内容】

Jアラートや避難情報等をすべての情報伝達手段（メルマガ・Facebook・LINE・X・市HP・固定電話・FAX）に自動で即時配信可能な一斉配信システムを導入

令和6年7月から、申込の受付を開始します。
青森市避難情報電話・FAXサービス
—避難情報等を固定電話やFAXに無料でお知らせします—


携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方はぜひご活用ください。

- ・携帯電話等をお持ちの方は市メールマガジン、SNS等をご活用ください。
- ・携帯電話等の操作が不安な方は下記【お問い合わせ】までご連絡ください。

サービス内容


- ・青森市が発令する津波、洪水、土砂災害などによる避難情報
- ・国が発信する国民保護情報（日本の領土・領海にミサイル落下の可能性がある場合など）

☎0570-095-999から受信
(例)こちらは青森市です。
〇〇地区に高齢者等避難を発令しました。
詳しくはテレビ等でご確認ください。

津波 洪水 → 電話・FAX サービス 8/1開始 → 

申込用紙設置場所

市役所本庁舎、駅前庁舎、柳川庁舎、浪岡庁舎、支所、情報コーナー、市民センター、浪岡地区公民館、福祉館、介護予防拠点施設、総合福祉センター、福祉増進センター、浪岡総合保健福祉センター、健康の森花岡プラザ

市ホームページ

こちらからもダウンロードできます。

**お申込み先
お問い合わせ**

郵送、電話・FAX又はメールにてお申込み下さい。
※直接持参いただく際は市役所本庁舎2階 総務部危機管理課へ

青森市総務部危機管理課
〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
電話：017-734-5059
FAX：017-734-5061
メール：kikikanri@city.aomori.aomori.jp

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (弘前市) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

令和4年8月の大雨による被害を受け、浸水被害の軽減をするために排水ポンプシステムを令和5年度より導入。災害時に迅速に対応できるよう定期的に訓練を実施。

※令和4年8月大雨災害時の状況



弘前市消防団による排水ポンプシステムを使用した訓練状況



国土交通省河川国道事務所による排水作業の状況



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (黒石市)取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

市内自主防災組織や各団体等に対して市職員が出前講座を実施

防災意識を啓発するため市内自主防災組織や各団体等に対して出前講座を実施。

3つのメニューを用意し、市民からのニーズに合った内容を実施。

【実績】（過去7年間）

平成29年度	5件
平成30年度	3件
平成31(令和元)年度	8件
令和2年度	6件
令和3年度	2件
令和4年度	3件
令和5年度	9件
令和6年度	5件(12月現在)



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (五所川原市) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

水害対策に係る防災研修会の実施【継続】

流域における地域住民を対象に水害対策に係る避難訓練や防災研修会を実施した。

猫淵町内会自主防災会避難訓練



1 森羽紙業敷地内へ車両の移動



2 避難所(栄小学校)へ避難



3 相原排水機場の施設見学



4 集会所にて防災研修会

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (つがる市) 取組実施内容・取組予定事例

岩木川流域の住民（下車力地区）を対象とした令和6年度つがる市防災訓練の実施

- 1 日時
令和6年10月27日（日）午前8時00分～午前11時00
- 2 場所
つがる市車力中学校、下車力保健福祉館
- 3 参加者
下車力町内会、下車力自主防災会、つがる警察署、航空自衛隊車力分屯基地、つがる市社会福祉協議会車力支部、つがる市消防団車力第2分団、つがる市、つがる市消防署（計83名）
- 4 訓練内容
 - （1）訓練広報・情報伝達訓練（防災行政用無線及び車力第2分団による情報伝達）
 - （2）災害警戒本部設置・運営訓練（河川の情報及び避難情報の収集）
 - （3）住民避難訓練（下車力自主防災会による避難誘導、社会福祉協議会による要支援者等の避難支援、つがる警察署による避難経路の確保）
 - （4）給水訓練（航空自衛隊による飲料水の生成）
 - （5）炊き出し訓練（下車力住民による炊き出し及び配膳）
 - （6）体験訓練（つがる市消防署による心肺蘇生（AED）、消火器VR及び煙体験）

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (つがる市) 取組実施内容・取組予定事例

【令和6年度つがる市防災訓練実施内容】

地域防災計画に基づき防災関係機関、関係団体及び地域住民の参加のもと災害時において連携し、迅速かつ的確に対応できる防災体制と「自助」、「共助」を基本とする避難行動を習得させ、市民の防災意識の高揚を図ることができた。

災害警戒本部設置



避難所運営



炊き出し



体験



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (平川市)取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

○流域の雨水貯留機能の向上

防災重点農業用ため池の決壊による災害から生命や財産を保護するため、耐性調査の完了したため池について、改修の優先度が高いものから順に改修工事を実施する。

あしげ堤の改修

事業名 農村地域防災減災事業(ため池総合整備)

事業主体 青森県

概算事業費 350,000千円

負担割合:国55%、県34%、市11% 38,500千円

事業スケジュール

令和3年度 調査設計

令和4年度 詳細設計

令和5~7年度 改修工事

工事内容

- ①堤体部(堤体を掘削・撤去し再度盛立)
- ②取水施設(取水施設を撤去し、再構築)
- ③舗装復旧工、護岸復旧工、柵復旧工、仮設工等

具体的な対策内容については、今後、変更となる場合がある。



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (藤崎町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容・取組予定事例】

防災訓練及び防災研修会を実施することで、災害に備えるための知識や技能を習得し、防災に対する意識向上を図る。

防災訓練



防災研修会



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (板柳町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

- ・ 中学生（2年生）を対象とした避難所運営訓練を実施
- ・ 新規転入者へのハザードマップの提供
- ・ 排水作業用として小型動力ポンプを導入

中学生を対象とした避難所運営訓練について



排水作業用小型動力ポンプの導入について



新規転入者へのハザードマップの提供について



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (鶴田町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

新たな情報取得及び発信手段として鶴田町公式LINEをリニューアル。洪水ハザードマップなどの防災に関する情報をLINEからでも簡単に取得できるようになった。



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (中泊町)取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

○流域の雨水貯留機能（田んぼダム）の推進

激甚化・頻発化する水害に備え、水田の排水口に流出量を抑制するための板（流出調整板）などの器具を取り付け、田んぼダムとして活用している。

宮野沢地区、今泉地区、薄市地区の3地区において、農地中間管理機構関連農地整備事業に合わせて実施。（令和3年度～令和8年度）

○災害備蓄品の管理

大規模災害の発生に備え、段ボールベッドやパーテーション等の分散備蓄について検討し、保管場所の選定を行うとともに、有事の際の搬出のしやすさを念頭に、保管方法について検討を行う。食料品や水などの期限があり更新が定期的に必要なものについては、自主防災組織と連携して訓練等での利用を促進する。

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (大鰐町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

防災マップに岩木川水系平川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と当町における土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、町が指定している指定避難所等の情報を掲載している。令和2年中に全戸配布したが、希望する町民への配布を行っているほか、HPへの掲載、転入者への住民窓口配布を行った。

また、9月29日(日)に実施した大鰐町総合防災訓練にて、水防訓練を実施し、各機関との連携、動きを確認した。

訓練では、町消防団が中心となり、出水期に備えて、河川等の警戒巡視、情報収集、住民の避難の呼びかけ等行うほか、土のう作成を実施し、水害に備えている。



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (田舎館村) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

浸水区域内の地域住民を対象とした避難訓練を実施し、その後に水害に関する研修会を開催する。

住民参加型避難訓練により避難経路や危険箇所等を確認



防災研修会開催により知識及び防災意識の向上を図る



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (西目屋村) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

中南郡町村職員を対象とした研修会を実施し、水陸両用バスに乗車し、津軽白神湖を遊覧したほか、津軽ダム見学ツアーで、ダム統合管理事務所職員の方の説明を聞きながら、内部の構造等を見学することで流域治水についての知見を深めた。

村職員のほか、周辺町村の様々な部局職員に参加してもらったことで、幅広く流域治水について知ってもらう機会となった。

水陸両用バス



ダム天端での説明



ダム内部を抜け白神が故郷パークへ



○参加人数

大鰐町職員：4名

藤崎町職員：5名

田舎館村職員：2名

西目屋村職員：5名

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県農村整備課) 取組実施内容・取組予定事例

○ 湛水被害軽減のため排水機の稼働

豪雨時に農業用の排水機場のポンプを稼働することで、農地の湛水被害の防止のみならず、農村地域等の浸水被害の防止や被害拡大の抑制を図る。

位置図

「岩木川水系」



日沼排水機場の稼働
(日沼地区農村地域防災減災事業(H27~R1))

具体的な取組み内容

○豪雨時に日沼排水機場(平川市)のポンプを稼働し、周辺農地の湛水被害を防止するとともに農村地域等の浸水被害の防止や被害拡大の抑制を図る。



大雨等で湛水した農地



日沼排水機場

農村地域等の浸水拡大の抑制

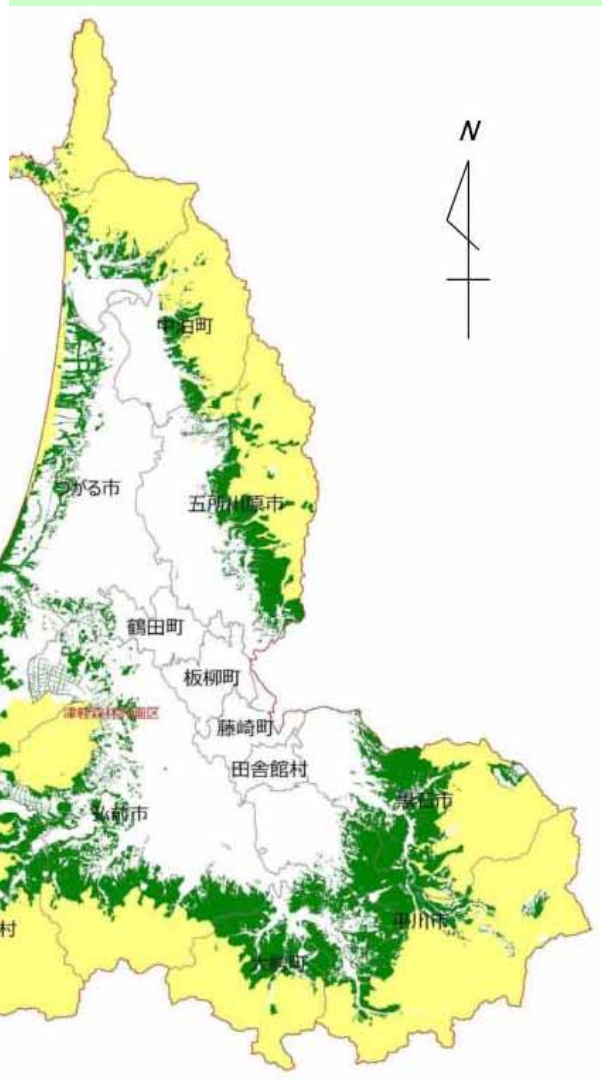
具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

実施工程

区分	取組項目	工程		
		短期 (R7まで)	中期 (R12まで)	中長期 (R12以降)
内水氾濫対策	排水機の稼働	実施中		

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県林政課) 取組実施内容・取組予定事例

津軽森林計画区概況図



凡 例

	計画区界
	市町村界
	民有林
	国有林

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

津軽地域森林計画

前半5カ年

(令和4年4月1日～令和9年3月31日)

森林計画抜粋【治山事業の実施に関する方針】

近年の大雨等による土砂流出や流木災害の激甚化等、災害の発生形態の変化を勘案しつつ、自然災害から地域住民の生命・財産を守り、県土の保全を図るため、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽及び本数調整伐等の森林整備や溪間工、山腹工、海岸防災林の整備・保全などを行うこととします。

また、流域治水における「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として、浸透・保水機能を維持・向上させるための森林整備に取り組むとともに、地域における避難体制の整備など減災に向けた効果的な対策を講じるほか、コスト削減や豊かな環境づくりにも配慮するものとします。

【治山事業】

森林整備（本数調整伐等）5箇所、山腹工（土留・法枠等・緑化等）24箇所、溪間工（ダム・流路等）19箇所。



【森林整備】



【山腹工】



【溪間工】



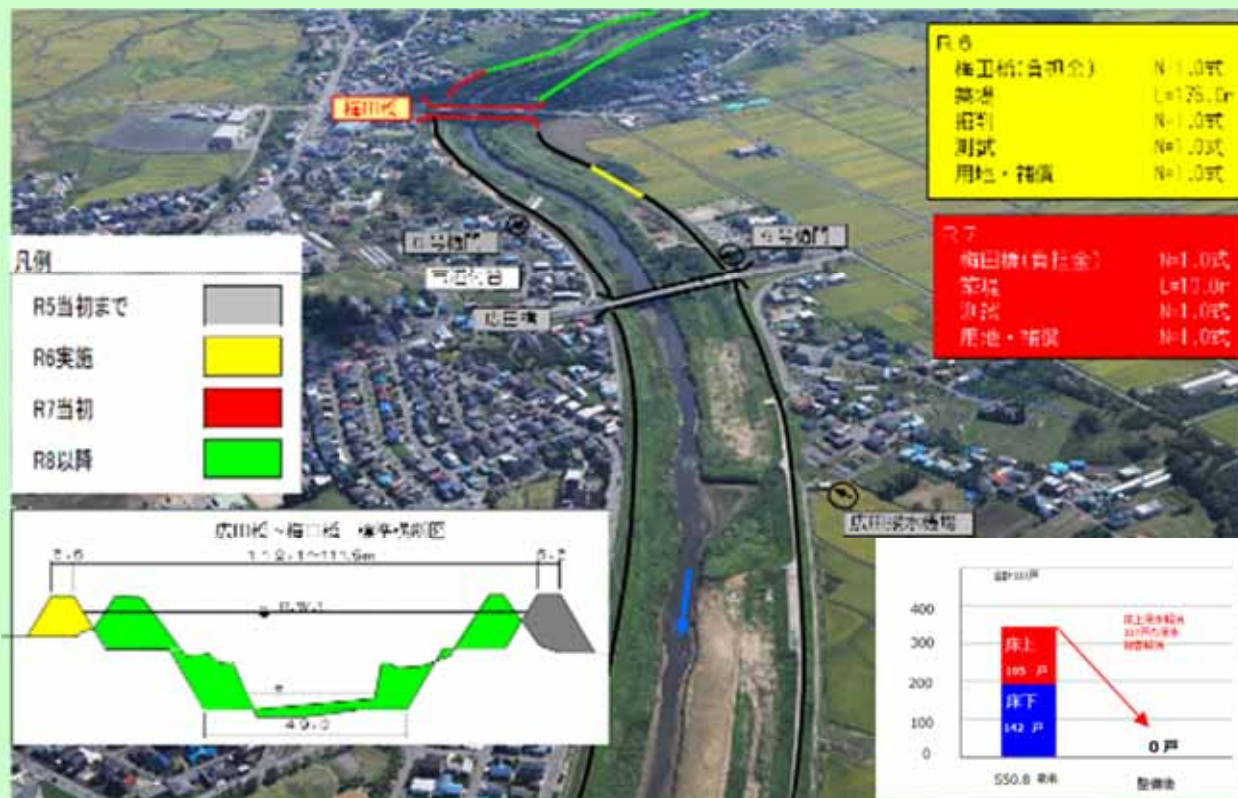
【溪間工】

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県河川砂防課) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

当該沿川の想定氾濫区域内は、近年工業団地整備事業、土地区画整理事業、新商業街区整備事業等の開発が進められている。しかしながら、十川の現況流下能力は低く、たびたび氾濫を繰り返しているため、市の新たな中心街となりつつあるこの地域の治水安全度の向上を図る。

岩木川水系十川 河川改修事業について



五所川原黒石線 橋梁架換工事状況について



梅田橋

R6.10 完成



完成

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県防災危機管理課) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

県民向けの自主防災組織の結成・活動促進に係る取組を実施。



防災グッズの展示



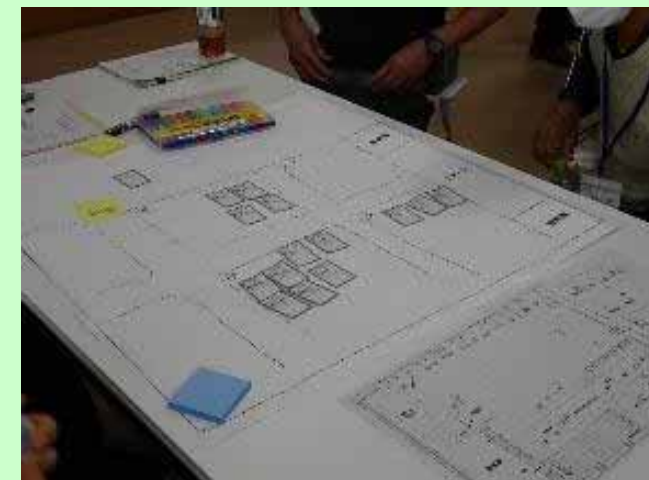
段ボールベッドの組み立て体験



講義の様子



グループワークの様子



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画
(北奥羽土地改良調査管理事務所) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

国営事業で造成した利水ダムにおける洪水調節機能強化の検討を実施

令和4年度から順次、利水ダムにおける洪水調節機能強化の検討を実施している。
令和7年度は二庄内ダム(黒石市)について実施を予定している。

年 度	地 区 名	ダ ム 名	備 考
令和4年度	小田川地区	小田川ダム	
令和5年度	浪岡川地区	浪岡ダム	
令和6年度	平川地区	早瀬野ダム	
令和7年度	浅瀬石川地区	二庄内ダム	(実施予定)

洪水調節機能強化は、既存設備による放流の範囲で行い、岩木川水系治水協定及びダム毎の事前放流実施要領に基づき検討する。

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (津軽森林管理署) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

流木捕捉式治山ダムが豪雨により発生する流木を捕捉し、下流への流出を抑制。

流木災害対策について

平川市葛川沢流木対策について

流木災害対策

近年、山腹崩壊に伴い土砂とともに樹木が流下し、被害を拡大させる流木災害が発生しています。平成29年7月九州北部豪雨では、大量の流木が発生して下流域に甚大な被害を与えました。治山事業では、流木捕捉式治山ダムの設置や渓流域の流木化の危険がある樹木を事前に伐採・除去するなど、流域治水と連携し、流木対策にも積極的に取り組んでいます。

平成29年7月
九州北部豪雨

○流木捕捉式治山ダムの設置や危険木除去

流木捕捉式治山ダム
による流木の流出防止



一流木化する恐れがある
渓流域の樹木の事前
伐採・除去

○既設治山ダムへの流木捕捉機能の付加



既設治山ダムの上流側に流木捕捉機能を付加する取組
(中部森林管理局)

流域治水の取組との連携 (各地の事例)

さもつさがわ
鹿児島県肝属川水系



流木捕捉式治山ダム

とねがわ
群馬県利根川水系



溪流沿いの危険木除去



R4年8月の豪雨時に発生した流木を捕捉



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (森林整備センター)取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

森林所有者等と協力して、岩木川流域上流部の民有林において、育成複層林を造成。



リーフレット3

育成複層林の造成を進めています

森林整備センターは、水源かん養や土砂の流出防止等に係る公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、複数の樹冠を有する育成複層林の造成を積極的に推進しています。

森林の持つ主な公益的機能

水源かん養 <ul style="list-style-type: none">• 洪水緩和• 水質浄化	山地保全 <ul style="list-style-type: none">• 土砂流出防止• 土砂崩壊防止	環境保全 <ul style="list-style-type: none">• 炭素固定• 生物多様性保全
--	---	--

単層林(従来の森林) → 育成複層林

群状の育成複層林 帯状の育成複層林

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター
<http://www.green.go.jp/>

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 線状降水帯降水帯に関する情報提供

- ・線状降水帯の予測精度向上の取組を順次進め、集中豪雨に対する情報を段階的に提供
- ・「線状降水帯」による大雨の可能性を、半日前からお伝えします

具体的な取組み内容

線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から、気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます。

この呼びかけは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけの活用イメージ



線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 水害リスクラインと洪水キキクルの一体的表示

・水害リスクライン(国管理河川の洪水の危険度分布)と、洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)を、洪水キキクルページ(気象庁HP)で一体的に表示。自治体・住民がより詳細なリスク情報を確認可能

具体的な取組み内容

国管理河川では、縮小時は指定河川洪水予報の危険度を表示。
拡大時は水害リスクラインを表示し、より詳細なリスク情報を確認可能。

水害リスクライン:国管理河川では、計算により推定した水位を、左右岸それぞれ、概ね200mごとに堤防等の高さと比較し、洪水の危険度レベルを表示。

各箇所の危険度をきめ細かく把握できることから、避難情報発令の参考にできる。



【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

- ・地域毎の災害特性を踏まえた人材配置による「担当チーム」を編成
- ・各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築

具体的な取組み内容

平時

- ・市町村等との「顔の見える関係」構築
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・防災計画や避難指示マニュアル等への助言
- ・関係機関等との連携した取組

緊急時

- ・記者会見による呼びかけ
- ・ホットラインによる首長への助言
- ・JETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣

災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

気象防災ワークショップの推進

【市町村・消防本部 危機管理(防災・消防)担当課長会議】



- ・防災対応能力の向上を図ることを目的に、気象防災ワークショップの開催を、県及び市町村に呼び掛けている。
- ・5段階の警戒レベルと防災気象情報の関係など、最新の情報を踏まえたワークショップを実施。

今後も、市町村に出向き実施を呼び掛ける。

積極的にJETTを派遣

【青森県災害情報連絡員会議】



震度5弱の地震発生時や台風接近時などには、気象解説等のため積極的にJETTを派遣しています。

「振り返り」の実施

【市町村担当者と振り返り】



災害や避難指示発令等の対応を市町村と振り返り、検証、改善することで地域の気象防災力の強化を図る。

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 防防災気象情報等のWeb講座を実施

- ・平時に県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、防災気象情報等のWeb講座を実施。
- ・大雨の前に、Webによる大雨警戒の呼びかけを実施し、災害後には振り返りを実施。

位置図

「岩木川水系」

大雨等が予想される市町村又は実際に災害が起こったり避難指示を発令した市町村に対して実施。



具体的な取組み内容

【平時】

- ・県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。

【大雨の前】

- ・大雨等が予想される場合、関係市町村及びマスコミ等にWebにより警戒を呼び掛ける。

【大雨の後】

- ・災害や避難指示発令等の対応を市町村と振り返り、検証、改善することで地域の気象防災力の強化を図る。

施策の実施工程

取組項目	対策内容	工程		
		短期 (R7まで)	中期 (R12まで)	中長期 (R12以降)
防災意識向上のための取り組み	・防災情報のWeb講座 ・警戒呼びかけ、振り返り	・年1回程度 ・大雨時	・年1回程度 ・大雨時	・年1回程度 ・大雨時

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (岩木川ダム統合管理事務所) 取組実施内容・取組予定事例

流域治水の広報 <岩木川ダムメール>

ダム放流をあなたのスマホにお知らせします

岩木川ダムメール

浅瀬石川ダム 津軽ダム

登録方法

STEP 01 はじめに
受信制限機能を利用している場合には「reg-p.jp」ドメインのメールが受信できるよう設定変更をお願いします。フィーチャーフォンやPCメールにも登録可能です。

STEP 02 サイトへアクセス
右記のQRコードを読み込むか、または下記のアドレスを入力してください。
https://p101.sugmail.com/uo/wikipage_dam/home

STEP 03 仮登録(空メール送信)
空メールを送信すると仮登録完了メールが届きます。URLを選択し、本登録サイトへアクセス。指示に従って必要事項を入力してください。

STEP 04 登録完了
配信が開始されます。

令和4年
10月1日運用開始
令和4年9月21日より試験運用を開始します

登録無料
受信料は利用者様のご負担となります

両方のダムを登録することも、片方のダムのみを登録することも可能です。
試験配信を兼ねたダム情報もお知らせします。(不定期配信)

お問い合わせ先 国土交通省東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所 TEL.0172-85-3035(代表)

ホームページ ツイッター

「岩木川ダムメール」とは、ダムからの放流に関する情報を中心としたメール配信サービスで、事前に登録した利用者にダムから放流があることをメールでお知らせするものです。

ダムから放流する際は、警報設備（スピーカ及びサイレン）で地域の皆様に周知していますが、強い雨の時など十分聞き取れなかったり、サイレンは聞こえるけど何の注意喚起なのか不明だったりします。

「岩木川ダムメール」を登録すれば、**警報設備がない地域でもダムから放流があることを「文字情報」として確認することができます。**

(従来の周知方法を変更するものではありません。)

近年頻発している異常豪雨や局地的な大雨等に伴う水害の教訓を踏まえ適切な避難行動や人的被害を軽減するためには、水害に対する防災意識の向上や平常時からの備えが重要です。

「岩木川ダムメール」を登録して、防災力を強化しましょう。
携帯電話やPCメールに登録可能です。

放流情報以外のイベント情報等も発信しています。

令和6年度ダムメール送付実績(イベント情報)

- ・令和6年春のライトアップ (4/11)
- ・レッドライトアッププロジェクト2024 (4/30)
- ・「水の日・水の週間」ブルーライトアップ (7/30)
- ・令和6年夏のライトアップ (8/5)
- ・令和6年秋のライトアップ (10/15)

登録数 384件(R 6.11. 1現在)

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (岩木川ダム統合管理事務所) 取組実施内容・取組予定事例

流域治水の広報 <岩木川ダム統管だより>

**岩木川ダム
統合だより**

086号
2024年
(令和6年)
6月28日

岩木川総合水防演習
流木配布
ゲート年点検
津軽ダムの試行的利活用に関する資料締結式
湖沼循環装置
浅瀬石川クリーン運動
ダム周辺に暮らす鳥
森と湖に親しむ旬間イベント情報
今月の「うがるの音」

配布先 203か所

岩木川沿川の区市町村、漁業協同組合、道の駅、教育委員会、土地改良区 外

令和6年度

岩木川総合水防演習に参加しました



令和6年5月26日(日)に鶴田町の保安橋下流河川敷において、令和6年度岩木川総合水防演習(主催:岩木川流域13市町村、青森県、国土交通省東北地方整備局)が開催されました。

当事務所は防災展に参加し、ダムについてより深く知っていただけるよう、ダムのパネル展示と、ダムの効果を実感できる模型実験を行いました。

ダムのパネル展示では、浅瀬石川ダムと津軽ダム、それぞれの概要、運用や効果、イベント情報を掲示し、担当者が説明を行いました。展示をご覧になった方からは、「ダムでこのような事をしていると初めて知りました」などの感想をいただきました。

また、模型実験では、ダムがある模型とダムがない模型に、雨に見立ててじゃろうで水を流し、水の流れ方を比較しました。たくさんの親子連れの方が足を止めて参加いただきました。お子さんたちからは、「ダムってすごい」などの感想をいただきました。



▲たくさんの方が集まってくれました



▲わかりやすく説明します



▲ダム有り模型



▲ダム無し模型

大規模洪水を想定したダム警報訓練

令和6年6月25日(火)に黒石市の津軽伝承工芸館において、大規模洪水に備えた合同訓練が行われました。この訓練は、異常豪雨や局地的な大雨による洪水が起こった際に、適切な避難行動をするための防災意識の向上を目的としています。

今年度は、山形地区自主防災組織と黒石市、当事務所の3者合同で行い、「住民参加型避難行動訓練」、「ダム警報訓練」を実施しました。

午前10時より、袋警報所、富岡警報所、落合警報所の順で警報設備を作動させ、音声放送、サイレンを流し、住民に確実に防災情報が聞こえるかを確認しました。

避難行動訓練の対象地域である山形地区の住民約40名は、津軽伝承工芸館へと避難し、いざというときのための道順や時間などを確認しました。

会場では、当事務所の浅瀬石川ダム管理支所の熊谷支所長が、ダムの重要性や過去の災害事例について講話を行いました。



▲避難場所の津軽伝承工芸館



▲お転車で避難を呼び掛け



▲音声放送、サイレン



▲避難行動訓練の様子



▲ダムについて講話



▲AEDについて説明

【岩木川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森河川国道事務所) 取組実施内容・取組予定事例

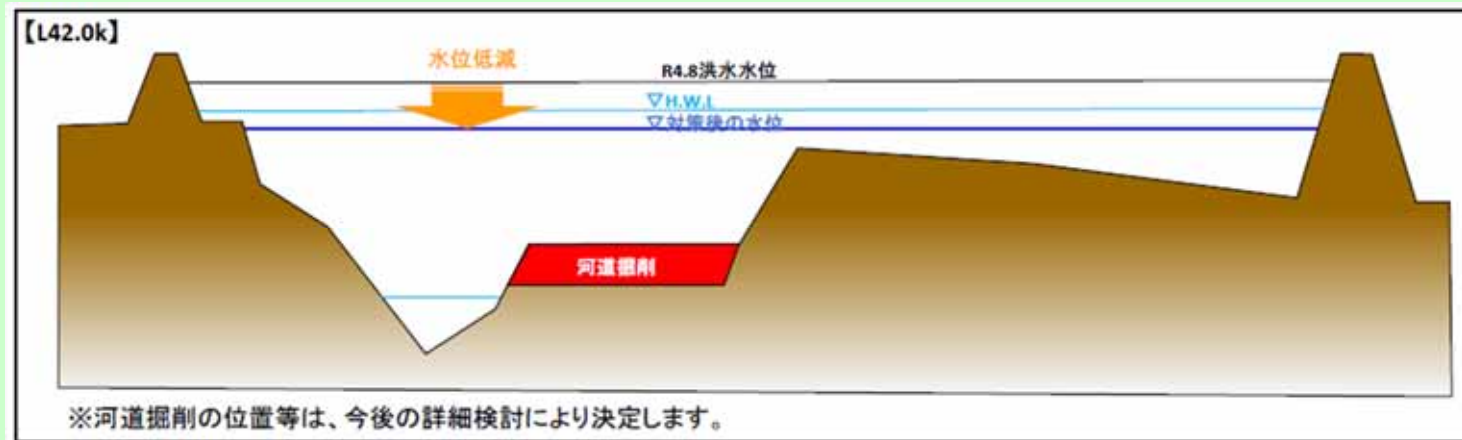
【取組実施内容】

岩木川本川においてHWL超過区間の水位低下を目的に「河道掘削」を実施。

岩木川中流部地区の河道掘削について



岩木川右岸39.4k付近 着工前状況



岩木川右岸39.4k付近 着手開始



※岩木川中流・上流緊急治水対策プロジェクトより